

## 拒絶理由通知書

4/3

特許出願の番号	平成11年 特許願 第218433号
起案日	平成16年 1月28日
特許庁審査官	川内野 真介 3022 3S00
特許出願人代理人	五十嵐 清 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

## (理由1)

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1
- ・引用文献1
- ・備考

引用文献1には、「プリント基板1」（本願請求項1に係る発明の基板に相当する）に実装された「電子部品3」（同じく電子部品に相当する）を覆う「シールドケース本体Sa」（同じくカバー部に相当する）と、「シールドケース本体Sa」から「プリント基板1」側に突出形成され「プリント基板1」に形成された貫通孔に挿入される複数の「脚Sb」（同じくケース取り付け用の足部に相当する）とを有する電磁遮蔽用の「シールドケースS」（同じくシールドケースに相当する）において、「シールドケース本体Sa」には各「脚Sb」をそれぞれ「シールドケース本体Sa」から切り離すための「窓部W」（同じく工具挿入穴部に相当する）が形成されている「シールドケースS」について記載されており、本願請求項1に係る発明と引用文献1記載の発明とは、発明を特定する事項に格別の差異はない。

- ・請求項 2
- ・引用文献 1
- ・備考

引用文献 1 には、「シールドケース本体 S a」（本願請求項 2 に係る発明のカバー部に相当する）の「プリント基板 1」（同じく基板に相当する）側開口端縁部から「窓部 W」（同じく工具挿入穴部に相当する）に至る切り込みが形成されていると認められる。

- ・請求項 3 ～ 5
- ・引用文献 1
- ・備考

複数の工具挿入穴部を形成すること及び工具挿入穴部を基板に対向するカバー部の頂部に形成することは、当業者が適宜なし得る設計的事項である。

#### （理由 2）

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

#### 記

請求項 3 には、「カバー部には工具切断部を介して複数の工具挿入穴部が対応する足部を分離する切断線に沿って連続して形成され」との記載があるが、どの語がどの語を修飾しているのか、つまり、修飾被修飾関係が明確ではない。よって、請求項 3 は不明確である。

#### 引用文献等一覧

1. 実願昭 56-173195 号（実開昭 58-78697 号）のマイクロフィルム

---

#### 先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC 第 7 版 H05K9/00

- ・先行技術文献

1. 特開平 9-266393 号公報
2. 実願昭 61-120296 号（実開昭 63-27093 号）のマイクロフィルム

3. 実願昭63-142942号(実開平2-63571号)のマイクロフィルム
4. 実願昭59-17705号(実開昭60-130695号)のマイクロフィルム
5. 実願平2-117837号(実開平4-74495号)のマイクロフィルム
6. 特開平5-110280号公報

(この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。)

この拒絶理由通知書についての問い合わせがあるとき、または、この出願について面接を希望される時は、以下までご連絡下さい。

連絡先 特許審査第二部搬送組立 川内野真介  
(電話) 03-3581-1101 内線3351  
(FAX) 03-3501-0530